



あやめ池  
街イキイキ  
協議会

< 地域自治計画書 >

2026年3月

# あやめ池の歴史

飛鳥時代

607年 推古天皇が築いた「菅原池」が、あやめ池南側にある「蛙股池」と考えられており、『日本最古のダム』ともいわれ、歴史あるため池。

『日本書紀』巻第二十二推古天皇15年(607年)の条に、「是の歳の冬に、倭国に高市池・藤原池・肩岡池・菅原池を作る」とあり、その「菅原池」が蛙股池とされている。これにより、「現存する日本最古のため池」とされている。同時に守護神として市杵島姫命が祀られたとあり、それが「あやめ池神社」の始まりとされている。社団法人日本大ダム会議発行の『日本ダム台帳』に蛙股池が掲載されていることから、蛙股池を「日本最古のダム」と称する向きもあるが、堤体の基礎地盤直上に道路や住宅があり、正確な堤高を計測することが困難なので、蛙股池が河川法で定められた「ダム」に相当するかについては意見が分かれている。

20世紀に「く」の字形が社寺の屋根を支える「蛙股(かえるまた)」の形に似ていることから「蛙股池」と名付けられましたが、江戸時代までは「大池」と呼ばれていました。

大正時代

1919年 大正8年に大阪電気軌道(現近鉄)が土地開発を開始、1923年(大正12年)9月9日、の臨時駅として富雄 - 西大寺(現在の西大寺)間に「菖蒲池駅」として開業。乗客の誘致を図るため大阪から芸者を迎え、この地に住ませ茶屋等を開かせたことが始まりとされる。翌24年には常設駅化する。(学園前駅は1942年(昭和17年)に帝塚山中学校の開校翌年に開業)

1926年 大正15年6月11日には当地にあやめ池遊園地が開園。開園に伴い「あやめ池神社」も神殿と拝殿が造営される。

1927年 昭和2年、「菖蒲池駅」の南側で炭酸鉄泉が湧出したため、「大軌」は「あやめ池温泉場」を建設し、昭和4年に開業した。

(建築家・村野藤吾氏の設計で大浴場や余興場、食堂などが設けられ周辺には旅館も立ち並び、一帯は温泉街として賑わった)

昭和時代

1929年 昭和12年、「大軌」は「あやめ池温泉場」もあつた「菖蒲池駅」の南側の「蛙股池(かえるまたいけ)」周辺で「菖蒲池南園住宅地」の開発を開始した。写真は造成中の様子で、同年内に完成。翌1938(昭和13)年に分譲開始となった。

昭和時代

1950年 昭和25年から大阪松竹歌劇団(のちのOSK日本歌劇団)があやめ池での公演をはじめると

1956年 昭和31年「あやめ池温泉場」は閉鎖、その後「日本歌劇学校」の校舎として使用される。

1966年 昭和41年9月、菖蒲池駅方面とあやめ池神社、あやめ池小学校を結ぶ歩行者専用橋「あやめ新橋」が完成。

1967年 昭和42年からは劇場を併設し、あやめ池遊園地を同劇団の本拠地とした。当時関西では宝塚市に匹敵する規模の行楽地として関西一円から利用客を集め、大正年間から昭和中期まで当地に人が絶えることは無いとまで言われた。

1978年 昭和53年に移転し建物は解体され跡地にマンションが立てられた。温泉街だった頃の旅館の建物を利用して西尾医院が現在も開業されている。

1980年 昭和55年、宮司の依頼に応じた地元自治会有志が復興事業に着手、菅原道真公と野見宿弥命を合祀し、大祭などの諸行事を復興させる。

1981年 昭和56年、あやめ池神社奉賛会が発足。あやめ池地区自治連合会と連携し、10月には周辺各団体の協力も得て社殿、石鳥居、手水舎が造営される。しかしその後、多くの人々の行楽場所として親しまれてきた「あやめ池」は、昭和後期頃から設備投資に目新しさが薄れた。

平成時代

2003年 平成15年、さらに劇団経営の不振や近鉄の業績悪化によりに劇団は解散。

2004年 平成16年6月には巨大テーマパークの台頭で利用客数の回復が見込めない等の理由で、に遊園地は78年の歴史に幕を閉じた。

2010年 平成22年4月に遊園地跡には住宅地や近畿大学附属幼稚園・小学校が移転して北地区の開発が終了。

令和

2023年 令和5年、第1回あやめ池フェス開催(各団体が連携した街おこしイベント)、奈良県の助成金を獲得(3年間)

2025年 令和7年、あやめ池新橋の耐震化のために架替工事を開始(3年計画)

2026年 令和8年3月にあやめ池街イキイキ協議会設立

## はじめに

あやめ池地区は近鉄菖蒲池駅を中心に南北に広がるエリアで、奈良市では西南部1ブロック（西大寺北・六条校区・都跡・平城・伏見・伏見南の7連合会）に属しています。

令和6年4月の段階では、4557世帯9482名が暮らし50自治会3070世帯（加入率67%）が加入しています。又、あやめ池地区自治連合会に加入している自治会数は45自治会、2939世帯（加入率64%）となっています。（令和7年1月段階で4549世帯9443名）どの地域にも言えることは、高齢化と人口減少です。今後、自治会加入率の減少に歯止めをかけることはできません。

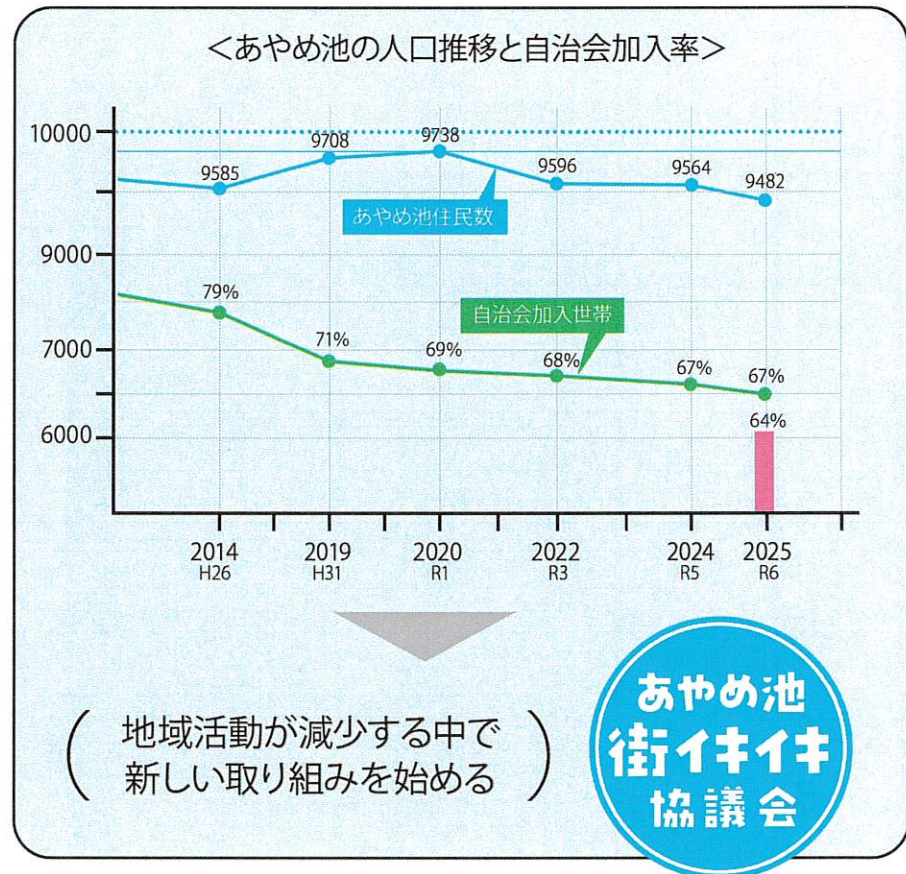
コロナ禍以降、社会は大きく様変わりし、従来の地域自治の考え方は通用しない時代となりました。共働き世帯、70歳代でも生活のために働く現代社会にあっては、全国的に見ても地域活動への参加は見込めない様相です。このままでは10年先には自治会組織は壊滅状態なのかもしれません。

また自治会組織も年を追うごとに高齢化（80代前後）が進み、気力・体力共に厳しい現状があります。高齢化・世代ギャップは益々進み、地域の接点が希薄なものになってきています。若い世代においては共働き世代が当たり前で、PTAへの参加も難しい状況です。高齢化・人口減少は市政にも影響を及ぼし、職員減少・サービスの低下はすでに始まっています。手を打たずに放置することは、格差社会を益々助長し、人と人の繋がりが薄れる無縁社会を生み、日本らしさや心のふれあいなどという、目に見えない大切なものが今まで以上に損なわれていく可能性が現実のものとなってきました。

来る時代に備え、自助・共助・公助の考えをさらに進め、「地域は地域で守る」という発想に立ち、できることにまず取り組む。という姿勢が急務となっています。誰かがやってくれると人任せにするのではなく、地域に暮らす住民が主体となり、地域課題の解決のために様々な担い手が手を取り合い、解決策を見つける。そのような心意気で、小さな子供からご年配の方まで防災・防犯に強い暮らしやすい（イキイキした街）を目指したいと思います。今回、主体である自治会長会議（2026年1月25日）で

承認・可決され、自主防災、社協、民生の賛同を得て、2026年3月に「あやめ池街イキイキ協議会」としてスタートさせることとなりました。

**現在、地域活動をされている方はもちろん、地域とつながりを求める方を探す企画、空いた時間を地域貢献に回し、対価を得ることができる企画などを考えることで、つながりを広げ、機会を広げることで次の世代へと地域活動の輪をつないでいける環境作りを目指します。**



## あやめ池協議会の事業計画

### 街イキイキ協議会とは・・・

街イキイキ協議会は、自治連合会が進めてきた「あやめ池フェス」で培ったノウハウや協力団体との関連性を維持しながら地域の絆を深めるために横串を通す組織です。各団体の活動・情報を地域で共有しながら、より協力体制がとれる調整役として、街がイキイキと活性化することを目的に設立するものです。

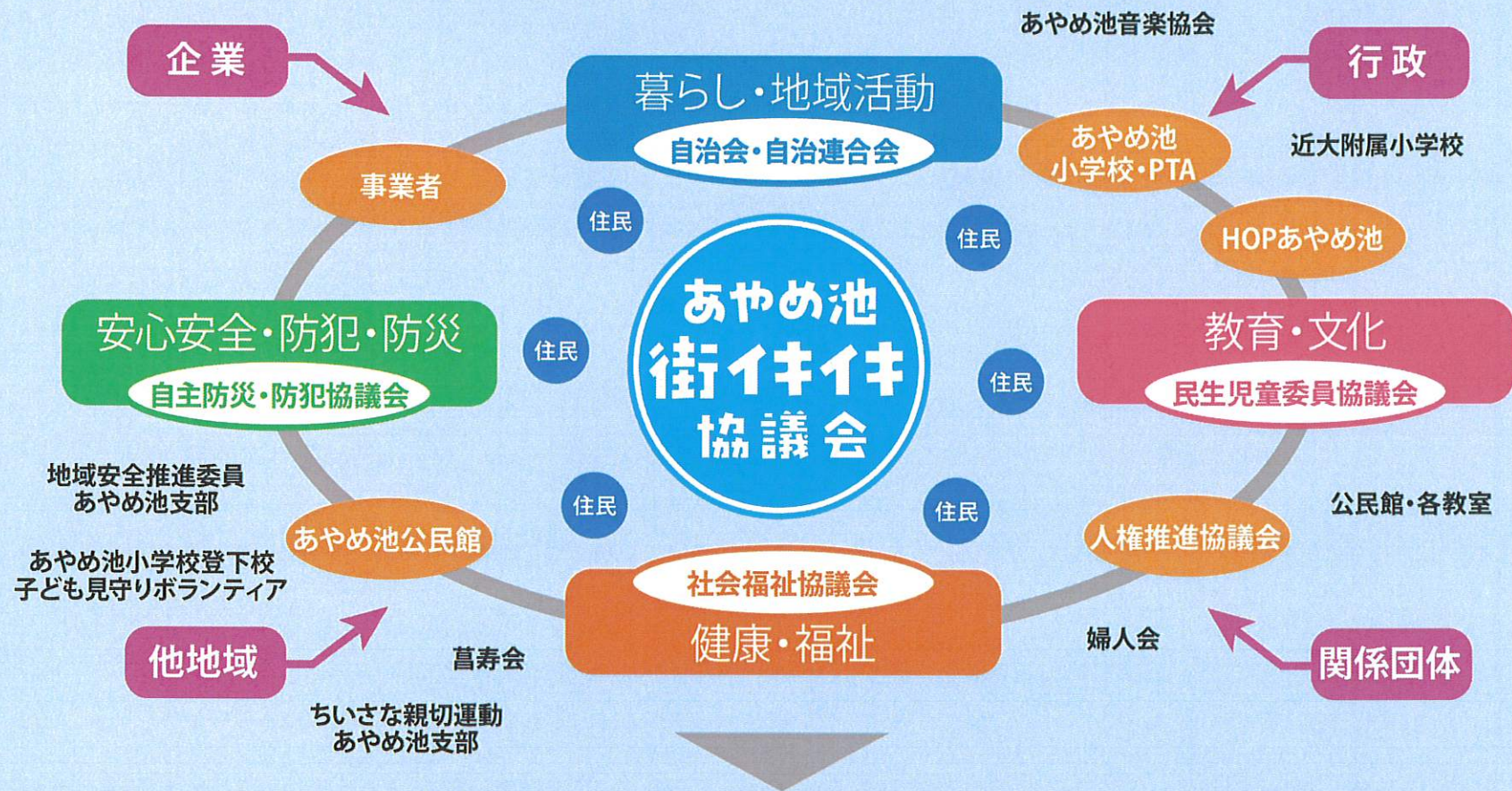
### 街イキイキ協議会の目標

近い将来、自治会加入率は50%を切ることが確実視され、公共サービスも今以上に低下することが懸念されています。協議会は地域を活性化し、手の届かないサービスを事業化(アウトソーシング)することで有償ボランティア化なども視野に入れ、5年後、10年後に暮らしてよかったと思える街づくりを目指します。

### 街イキイキ協議会の具体的な短期(中期)活動目標

- 地域の交流活動(あやめ池フェスなど地域イベントの活性化)
- あやめ池小唄の復活と桜祭りの立ち上げ(あやめ池新橋開通と春の文化事業の立ち上げ)
- 毎月発行されている「しみんだより」の配布などの請負(アウトソーシング事業)
- 地域内の公共施設・道路維持など住民生活の安全確保(公共とつながる活動)
- 子供、高齢者の安全、防災防犯活動などの拡充(見守り活動の拡充)

# 街イキキ協議会 活動概念図



今後の活動は部会に分けて開催され、協議会で共有される

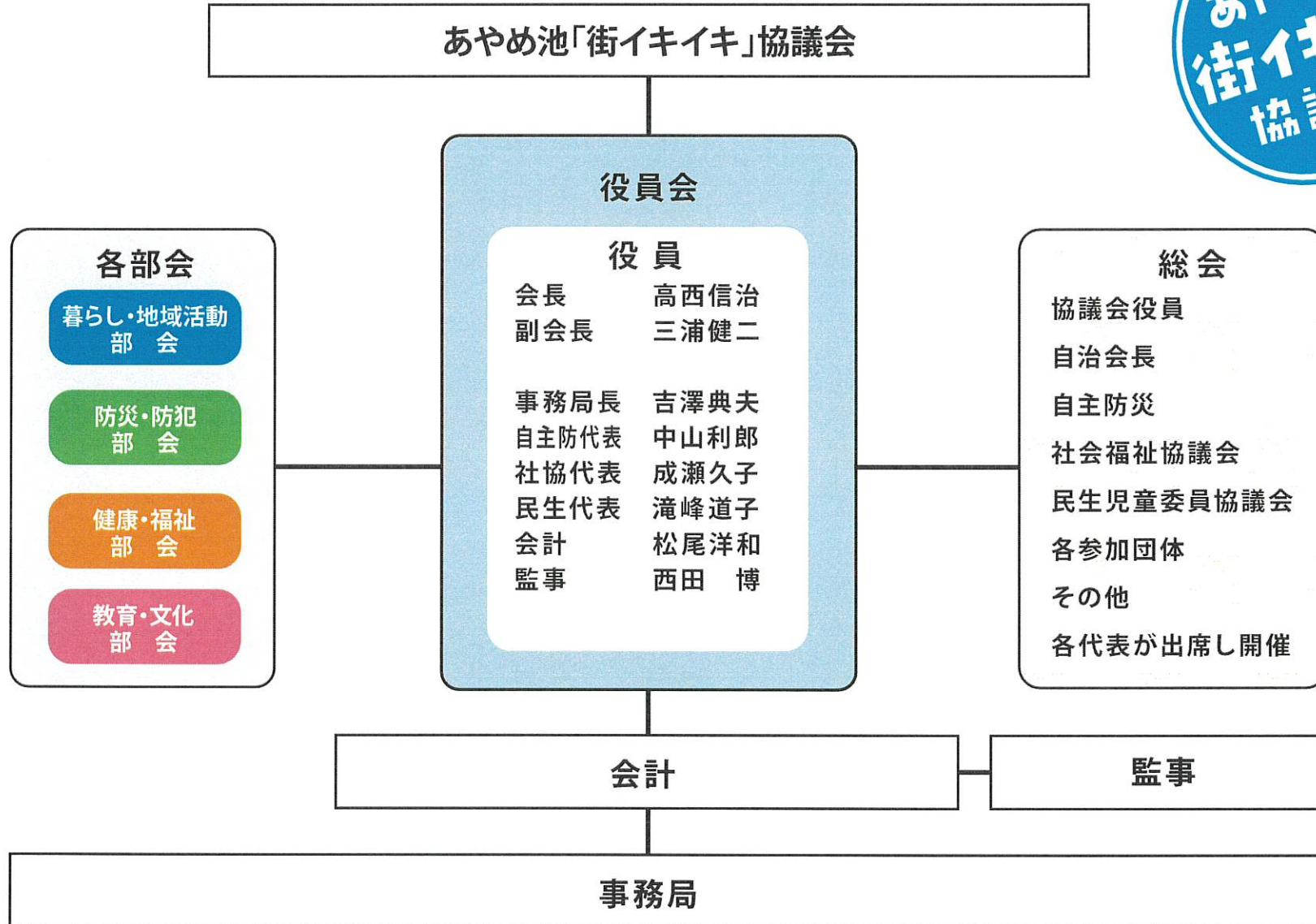
暮らし・地域活動  
部会

防災・防犯  
部会

健康・福祉  
部会

教育・文化  
部会

# あやめ池協議会の組織



## あやめ池春の桜祭り（協議会企画第一弾）

あやめ池  
街イキイキ  
協議会



### あやめ池地区活性化のための 「あやめ池小唄」復刻プロジェクト

現在のあやめ池地区は、子育て世代から高齢者までが暮らす街となっている。

3年前にあやめ池フェスとして自治会主体のイベントを開催。第3回では、延べ5000人の集客を得た。今回より「盆踊り」ならぬ「総踊り」の復活を望む

声が多く、地元奈良出身の川井聖子さん（演歌歌手）の歌声に合わせ2F集会室で総踊りを実施。そんな折「あやめ池小唄」がかつて存在し、昭和時代に曲に合わせ盆踊りをした。との情報を得て調査。日本ビクターよりレコードも販売されていた形跡が見つかった。地域から歌詞も発見することができた。今後、新橋完成までに有志を集め曲を復活、新橋完成時に披露したい。

歌は地元歌手の川井聖子さんに依頼し、地元を盛り上げに一役やってもらいたい。

歌は地元歌手の川井聖子さんに依頼し、地元を盛り上げに一役やってもらいたい。

## あやめ池新橋着工に合わせて「桜祭りを開催」

地域の活性化策として住民の手で復刻を行い、令和版「あやめ池小唄」として地元の新たな名物にしたい。

急な企画であるが、4月5日（日）桜開花時期に合わせ、あやめ池神社奉賛会と連合会の夜会、昼間の婦人会のイベントなどを絡めてあやめ池小唄復活プロジェクトの発表を行い、同時に川井聖子さんのショーを開催。川井聖子さんの新曲の発表奉納を合わせ開催することで、地域の話作りをおこなう。

## あやめ池桜祭り 4月5日（日）

あやめ池神社前にて開催

- キッチンカー出店
- 川井聖子（新曲発表会）ショー&総踊り
- お花見

# あやめ池地域活動・年間スケジュール

4月

- あやめ池春の桜祭り
- あやめ池小学校入学式
- 定例役員会議

5月

- 総会(自治会総会に合わせ開催)
- 定例役員会議

6月

- 定例役員会議

7月

- 定例役員会議
- 定例会議(自治会長会に合わせ開催)

8月

- 定例役員会議

9月

- 定例役員会議
- 定例会議(自治会長会に合わせ開催)
- 敬老のお祝い

10月

- 定例役員会議
- あやめ池神社秋祭り

11月

- 定例役員会議
- 定例会議(自治会長会に合わせ開催)
- あやめ池フェス
- 防災訓練

12月

- 定例役員会議

1月

- あやめ池神社とんど祭り
- 定例役員会議
- 定例会議(自治会長会に合わせ開催)
- 新年会

2月

- 定例役員会議

3月

- 定例役員会議
- 定例会議(自治会長会に合わせ開催)
- あやめ池小学校卒業式